

2-3面 母校同窓会会長ごあいさつ・
新校長ごあいさつ・母校通信

4-5面 35回生座談会

「素敵な仲間と恩師に囲まれて充実していた高校生活」

6面 千葉貞夫氏(20回生)旭日双光章授賞のごあいさつ
令和5年、4年ぶりに開催された総会風景

7面 活躍する在仙同窓生「山本琴枝さん」

8面 各種報告とご案内他

佐沼高等学校在仙同窓会便り

ひろがり

No.23
「在仙同窓会創立40周年記念号」

発行日：2024. 7. 30

発行者：佐高在仙同窓会広報誌委員会

在仙同窓会創立40周年を祝して

佐沼高等学校在仙同窓会 会長

五十嵐 信さん (高27回生)



在仙同窓会会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、平素は同窓会活動に対しご理解とご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。

昨年は、9月2日に4年ぶりの定時総会を開催いたしました。5類感染症に移行したとはいえ、まだコロナの影響が続いておりまして、参加人数が心配されましたが、当日は大先輩の3回生から若手の65回生まで総勢100名の会員にお集りをいただき、盛会裏に終わることができました。ご参加された皆様と総会運営にあたった34回生にあらためて感謝を申し上げます。

さて、在仙同窓会は本年8月をもって創立40周年を迎えます。同窓会の設立経緯等につきましては、「佐沼高校百年史」に当会の谷関一郎氏(中41回生)が寄稿されておりますが、昭和57年9月に、阿部睿氏(中26回生)を代表として、当時仙台経済界で活躍されていた諸先輩10余名により同窓会創設に向けた1回目の世話人会がもたれ、以降、準備を重ね、昭和59年8月11日に、戦後初めてとなる設立総会がパレス平安において挙行されたと記されています。爾来当会は会員相互の親睦融和を図る会として継承、発展し現在に至っております。この度めでたく創立40周年を迎えられますこと、皆様とともにお慶びを申し上げますとともに、これまで当会の発展にご尽力をいただきました諸先輩、歴代役員、会員各位に心より感謝を申し上げます。つきましては、同窓会創立40周年を記念し、会員の皆様から拠金を募り、現在母校において進められている53年ぶりの校舎建替え(来年9月

竣工予定)にかかる設備、備品等諸費用の一部として贈呈したく、5月14日の常任幹事会および6月17日の期別幹事会において決定をさせていただきます。会員各位におかれましては、本趣旨にご賛同をいただき、是非ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

在仙同窓会は校訓「至誠・献身・窮理・力行」のもと、初代阿部睿会長が言われた「友愛と団結一奉仕者は報われる」を理念としています。阿部会長は「ご挨拶のなかで「同窓会に最も多く参加する者は最も多く報いられる。参加することによって直ちに利益があるとは考えられないが、知人を多く持つという強みというものは、将来自分自身にプラスの効果期待できると思う」と話されています。わが母校同窓生は多方面で活躍されていますので、同じ郷土で学んだもの同士、同窓会を通じて親睦を深めながら、お互いの知見やネットワークを広げていただきたい。コロナの影響もありあらゆる面でデジタル化が進展しておりますが、このような人と人との交流の場でき得られないものがたくさんあります。本年も楽しく有意義な同窓会となりますよう、多数の皆様にご参加をいただきたく重ねてお願いいたします。

結びに、次の創立50周年にむけて当会のさらなる発展と会員各位の益々のご健勝を心よりお祈り申し上げますとともに、昭和59年の設立総会において示された「在仙同窓会親睦心得」をあらためて確認し合い、お祝いのご挨拶いたします。

「在仙同窓会親睦心得」

1. お互いに信頼し融和し真の友情を深めること。
2. お互いに実社会における実績を評価し尊敬し合うこと。
3. お互いに親切丁寧に知恵や体験を披露しあうこと。
4. お互いに政治宗教を尊重し会合に持ち込まないこと。
5. お互いに金銭貸借関係などで迷惑をかけること。

在仙同窓会創立40周年を皆さんでお祝いしましょう!

令和6年度 佐高在仙同窓会総会

<日時> 9月7日(土) 16:00~ <会場>パレスへいあん(青葉区本町1-2-2) <幹事>高35回生(昭和58年卒)

皆様のご参加をお待ち申し上げます。

なお、詳細と参加申し込みは同封の案内状をご参照ください。

母校同窓会会長のごあいさつ

佐沼高等学校同窓会 会長

氏家 良典さん（高20回生）



在仙同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年には在仙同窓会が発足して四十周年という事ですが、正にこの四十周年を祝うようなビックニュースが飛び込んで廻りました。宮城県総体ラクビー決勝において佐沼高校が、仙台育英に八対七で勝ち三十六年振りの優勝を飾った快挙です。この調子で東北大会での活躍、秋には再度仙台育英を倒し花園出場を果たして欲しいと願います。

先日、旧校舎の跡地を見る機会がありました。旧校舎は全て取り壊され、新校舎建設の基礎工事が進んでおります。跡地に見える光景は皆さん御存知の旧図書館と正門から入ってすぐ目にする幾種類かの庭木でした。

昨年コロナウイルスが二類から五類に移行したことにより、四年振りに本部同窓会総会を開催しました。来賓として、在仙同窓会の五十嵐新会長にも御祝辞を戴きました。当番幹事の高三十四回生の皆さんに三年も待ちぼうけをさせてしまいました。それにもかかわらず、一七一名と大人数を集めてもらい大盛況の中終了しました。

結びに当り、在仙同窓会のご発展とともに在仙同窓会の皆様のご健勝を、重ねて祈念申し上げます。

追伸、共催の同窓会懇親ゴルフコンペは、九月二十六日、杜の都ゴルフ倶楽部にて開催予定です。

新校長ごあいさつ

受け継がれる

「学びを行動に

つなげる教育」

佐沼高等学校 校長
加賀 谷亮さん



佐高在仙同窓会の皆さまにおかれましては、日頃より本校の教育活動にご支援、ご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

今年度の人事異動により、狩野秀明校長先生の後任として着任しました、加賀谷亮（かがやまこと）と申します。

佐高在仙同窓会創立40周年をお祝い申し上げますとともに、各所でご活躍の同窓生各位に改めて敬意を表したいと思っております。

現在の生徒数は、全日制681名、定時制20名の総計701名となり、校是の「文武両道」と校訓の「至誠・献身・窮理・力行」を具現化すべく生徒、教職員が充実した教育活動をおこなっております。

佐高の教育は、『学びを行動につなげる教育』として、長年にわたり受け継がれてまいりました。創立からの時代の経過に思いを馳せるならば、学校の門をくぐると、感じる雰囲気は校風であり、その校風が積み重なって伝統となります。本校は、まぎれもなく歴史のある「伝統校」であります。

さて、校地内の校舎等大規模改修工事は、お陰さまで順調に進んでおります。4月より新校舎の建設工事が本格的に始まり、掘削や杭の打設が行われていきます（六月末現在）。令和7年初秋の竣工を目指し、しばらくは仮設校舎での学校生活が続きます。良き思い出と、実りある高校生活が送られるよう、そして、佐高として多様性を重視した二十一世紀の国際社会を力強く生き抜くことのできる有為な人材の育成を進めてまいります。今後とも同窓生の皆さま方のお力添えをいただきながら、ご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、佐高在仙同窓会会員の皆さま方のご健勝、ご多幸、ご活躍をご祈念申し上げます。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

母校トピックス

【佐沼高校新校舎の建設工事風景】

令和6年6月28日、仮設校舎から北に向かって撮影。現在は基礎工事が進められています。右手に見えるのは平成16年竣工の第二体育館。



【新校舎全景】

図の中央右寄りの「ロ」の字型の建物。北側（正門側）から俯瞰してみた完成予想図。図の上方左から、テニスコート、ソフトボールグラウンド、第1体育館。新校舎の左は第二体育館。新校舎は令和7年9月の完成予定で、その後、仮設校舎の解体工事およびグラウンド造成工事がはじまります。



母校や同窓会の詳細情報はHPでご覧ください。



母・校・通・信

5月下旬から6月にかけて県高校総合体育大会が開催されました。ラグビー部が決勝で仙台育英を破り、36年ぶりの優勝を果たすなど、われらが佐高生はそれぞれが持てる力を十二分に発揮し、各競技で躍動しました。県総体結果と、各種大会結果や活動紹介をあわせてお知らせします。

●県総体結果

【ラグビー部】

- ・1位
- (36年ぶり7度目)
- 東北大会出場・3位

【ボート部】

- ・男子総合2位
- ・女子総合2位



- ・男子舵手付きクオドルブル1位
- (東北大会出場・1位) (インターハイ出場へ)

- ・男子ダブルスカル2位／3位 (東北大会出場・4位、準決勝進出)／6位

- ・男子シングルスカル2位 (東北大会出場・準決勝進出)／6位／8位／9位／予選

- ・女子舵手付きクオドルブル2位 (東北大会出場・予選／敗者復活)

- ・女子ダブルスカル2位／3位 (東北大会出場・準決勝進出／同)

- ・女子シングルスカル2位 (東北大会出場・準決勝進出)／4位

県大会を優勝した男子舵手付きクオドルブルは、8月に長崎県で行われるインターハイへの出場権を獲得しました。

【陸上競技部】

- ・男子総合第6位
- ・女子棒高跳1位 (佐々木歩果、東北大会)

- 出場・15位／5位／6位

- ・男子棒高跳4位／5位／6位 (東北大会出場・13位／13位／記録なし)

- ・男子5000m W4位 (東北大会出場・16位)／6位

- ・男子砲丸投6位 (東北大会出場・20位)

- ・男子3000m SC7位

- ・男子円盤投6位

- ・男子やり投7位

- ・男子八種競技5位

- 【ソフトテニス部】

- ・男子団体 1回戦

- ・男子個人 ベスト64

- ・女子団体 ベスト8

- ・女子個人 ベスト32 4名

- 【バドミントン部】

- ・男子団体 3回戦 (ベスト16)

- ・女子団体 2回戦

- 【柔道部】

- ・男子団体 ベスト8

- ・女子個人 48キロ級 第3位

- 【剣道部】

- ・男子団体 決勝トーナメント1回戦敗退 (ベスト16)

- ・女子団体 予選リーグ敗退 (1勝1敗)

- 【ソフトボール部】

- ・2回戦

- 【サッカー部】

- ・1回戦

- 【ハンドボール部】

- ・ベスト8

- 【水泳部】

- ・男子500m自由形

- ・男子1000m自由形

- ・男子2000m自由形

- ・男子1000m平泳ぎ

- ・男子2000m平泳ぎ

- ・男子1000m背泳ぎ

- ・男子2000m背泳ぎ

- ・男子1000mバタフライ

- ・男子2000m個人メドレー

- ・男子4×1000mフリーリレー

- ・男子4×1000mメドレーリレー

- 以上予選敗退

- 【各種大会結果】

- 【野球部】 春季県高校野球地区予選

- ・1勝2敗 (予選敗退)

●第48回全国高等学校総合文化祭

- (岐阜市・7/31～8/4) 美術部 出展作品

- ・芳賀祐月 (2年・佐沼中出身)

- 「Anarchy Orchestra」

- 作者コメント…

- コンサートホールの雰囲気と香りが大好きだ。天井やステージにいるライトはプレイヤーを情熱で照らす。この作品を見る方々に無秩序な楽団の奏でる音を感じ取ってほしい。



- ・林莉々花 (3年・中田中出身)

- 「Recycle」



※映像作品



(YouTube)

※上記のQRコードを読み込んでご覧下さい

作者コメント…
ゴミ問題を表現するために
いらなくなったものが再利用
されていくところを表現
しました。最初と最後が同
じ場面になるため映像が
「サイクル」しているところ
も見どころです。

●第48回全国高等学校総合文化祭

- ／日本音楽部門

- (土岐市・7/31～8/1)

第48回全国高等学校総合文化祭／日本音楽部門に本校
箏曲部が出場しま
す。大舞台に向け、
日々熱心に稽古に
励んでいます。



●吹奏楽部第59回定期演奏会

- (登米祝祭劇場・5/19) のひとこま。

あらたな試みとして「よさこい」を取り入れたステージを披露しました。河北新報に掲載されるなど、話題となりました。



佐高生の活動については、本校HPのほか、「まちナビ編集部」様により、さまざまなYouTube動画が紹介されております。ぜひご覧ください。

同窓会事務局長 白旗崇敬 (高43回生)

座・談・会 35回生

素敵な仲間と 恩師に囲まれて 充実していた高校生活

5月30日、今年の当番幹事35回生6名が集まり、近況報告や高校時代の思い出、母校や郷土への思いを語り合っていました。

【自己紹介と近況報告を 願います】



進学し、佐沼に戻りガソリンスタンドを数店舗経営しています。狩野前校長が企画した「地域貢献」を目的とした特別授業に呼ばれて在校生の活動や考えに触れたりしています。我々の時代と違って、今の生徒は非常に優秀でやんちゃな生徒？が少ないなあと感じています。将来の事や地域の事を真剣に考えてい

（及川幾雄）私は、在仙ではなく佐沼在住ですが、今年の母校同窓会の幹事（実行委員長）という事で佐々木奈津江さんにお声がけいたいただいて本日参加しました。佐沼中出身で小・中・高と剣道をやっていました、高校卒業後は、東北学院大学に

るので、あえて若い人たちにエールというよりは、若い人たちに迷惑をかけないようにしていかないとけないと思うようになりました。（笑）

（鈴木孝彦）実家は迫町北方出身で佐沼中出身です。小・中・高と野球をやっていました。中学時代は陸上にも駆り出されたことがあり、800mや3,000mにも出たことがあります。旧姓は三浦でしたが、高校1年の時の同級生と結婚し、米山に婿入りしまして、県警を退職したら農家をしなければならいなあと思っています。近況としては、娘が2人いて、年内に結婚する予定でそれが一番の喜びです。

（馬場裕子）旧姓は高橋と申します。実家が東佐沼で、佐沼中出身です。保険の総合代理店で仕事をしています。佐沼にいた母が5年前に仙台にきた時にケガをしてしまい、そのまま仙台で一緒に生活しているため、実家はありませんが空になっており、たまに行く程度です。

（佐々木康猛）数少ない登米中出身です。学習塾で35年ほど働いており、先月社長に就任しました。子供達と触れ合う仕事をしており、母校に伺うことも時々あります。現在、私自身は登米の方に籍もなく、両親も亡くなったため実家も解体してしまっていて、行く機会も少なくなってきましたが、佐沼にも教室があるので、母校の前を通りながら、校舎が立派になるんだなあとしみじみに眺めています。

ます。

（蜂屋恵美）旧姓は鈴木です。南方中出身です。佐沼高校を卒業して、仙台で就職して20年ほど写真の仕事をした後に56歳までSS30で事務の仕事をしていました。今はたまに派遣の仕事をしたり、主婦をしたりしています。全然元気で病気ひとつしない生活でしたが、50代で自分のやりたいことを一旦済ませて、還暦という節目で、第二の人生を送れたらと思っています。ずっと健康第一を目標としていて、今でも毎日運動をしています。子供たちにも元気に年を取っていくということを伝えていきたいと思っています。体づくりを楽しみながら過ごしています。

（佐々木奈津江）佐沼中出身です。仙台に出てきて4年になります。それまではずっと地元に住んでいました。仕事は県議会議員をしております。職場では県警の鈴木孝彦さんの姿を拜見できることが励みになっています。職業柄、選挙に出ていたりするので、同級生から連絡をもらったりすることも多いです。同級生の力もあって今があるんだなあと感じの気持ちと本当に懐かしさを感じてもらっていることをうれしく思っています。去年、母校にお邪魔させていただいた際に、後輩たちは本当に立派で先生方も親切だなあという印象を受けました。私たちの頃はユニークな先生方が多かったのですが、お世話になった同級生もたくさんいますが、今になって考えているとその先生の話題で盛り上がる事ができるのでありがたいなあと思います。

【高校時代の思い出などを お話してください】

（佐々木康）当時、通学距離10km未満はバイク通学が出来なかったんですね。登米の中に10kmの境になるところがあつて。佐々木先生が毎年車で距離を測りに来ていました。いろいろ工夫してバイクで通っていましたが、

中にはバイクで来て近くの空き地に停めて歩いて通学している生徒もいました。遠方からの通学は大変でした。

（馬場）部活は華道をやっていました。小原流の先生が月に1回くらい来て、それ以外はパーパーフラワーを作ったりしていました。



馬場裕子さん

（及川）裕子さん（馬場）の自宅で色々な活動がされていましたね。文化祭の打ち上げでどんな騒ぎをしていた時に佐竹先生が突入してきたこともあったね。

でも当時の先生たちからは印象深い学年だったと言われます。高校を卒業してからでもクラス関係なく佐々木先生や芳賀先生のところには何度も泊まりに行きました。今の高校生に聞いたら、学校の先生の家に泊まりに行くなんてありえないと言われました。

（佐々木奈）恵美ちゃん（蜂屋）が運動しているという話がありましたが、高校時代は陸上部だったので、走ってばかりいたなあという記憶しかありません。中学時代は、恵美ちゃんと一緒にバレー部だったんですが、3年生の時の球技大会でチームを組んで見事優勝した思い出が急によみがえりました。

（鈴木）某先生には水泳の授業で指導を受けたことがありました。自分は泳ぎ終わっていましたが、泳ぎが苦手な同級生が一人残ったので一緒に泳ぐことにしたのですが、途中で何回か立ち止まったりしたら、終わってから前に出ると言われて熱い指導をいただきました。

（及川）校舎の建替でプールがなくなるそうです。高校に限らず、新たに改修するところはプールどころなくなるそうだけど、暑いときにプールはいると気持ちいいんだけどね。合宿のときに夜中にプールに飛び込んだりしたね。

（鈴木）野球部では当時ミスをしたりすると

ノックバットでご指導をいただいていた。高校には勉強というよりは、野球をしにいつているような感じでした。ランチジャーを自転車のかごに積んで通学していたことを思い出します。部員の中にはグラウンド整備をして、授業は出ないで午後から部活にだけ出てきている人もいました。



鈴木孝彦さん

(佐々木奈) 野球部が甲子園予選の決勝に残った年なかったでしたか？

(鈴木) 決勝は2つ上の先輩たちの時に新人戦や春の大会で決勝に残った。当時、東北高校に仲条つという巨人に指名されたピッチャーがいて負けましたが先輩たちもすごかったと思います。当時、シード校は4校しかなかったけど、シードになったりならなかったりしていたので、それなりの立ち位置にいたんだらうなと思う。これもノックバットのおかげかな。

(及川) 我々の時はラグビーが決勝まで行ったんだよね。有志で応援に行ったことを覚えている。

(馬場) たしか私、親戚に頼んでマイクロバスを出してもらったはず。私自身は記憶にないけど、みんなに言われるんです。

(及川) 时期的に受験も近く、学校としては応援に行くことは良しとは出来なかったようです。試合会場も仙台でした。交通手段がなくて学校に直談判した人もいたけど、それで裕子さんが親戚に頼んでバスを手配したんですよ。あの時は本当に惜しかった。ちよとしたミスがあった。その後ALL宮城に選ばれた選手も何人かいました。



及川幾雄さん

(佐々木奈) 芳賀先生が出された本、「佐沼高校ラグビー部物語」でしたっけ。ラグビー

部のことだけではなく一般生徒のことも書いてあって、私の事も一行くらい書いてもらった。

(蜂屋) 私は、最初バレー部に入ったのですが、その後バスケット部のマネージャーをやっていました。ちょうど合宿をしていたときに皆既日食があつて、すごく神秘的だったことを鮮明に覚えています。それと、食堂がいつも混んでいたの、授業を10分前に抜け出していた。コロッケパンやマーガリンパンがおいしかった。

(馬場) デニッシュを食べたくて、席を後ろの扉の近くにして、授業が終わったと同時に走っていった記憶があります。お弁当を持って行っていたんですけど、私の席の後ろのアカラとか、私の机から授業中に弁当を食べられていることが何回もあった。

(佐々木奈) カレー定食もおいしかった。

(佐々木康) 普通の定食が280円、かけそばが130円だった。

かけそばを頼むと食堂のおじさんが天ぷらの端っこをいれてくれたりした。



佐々木康猛さん

(及川) 剣道部はご飯だけ持ってきて、後輩に100円渡しておばちゃんに100円分だけカレーかけてくれるように頼んでいた。自分たちも先輩からやらされていた。ウジエスパーの隣の木村の焼きそばも絶妙にうまかったなあ。

(蜂屋) 栗駒登山もあつたね。

(及川) 先輩たちから教えられて、シロツブを持って行って雪渓を食べたのもいい思い出だね。

(蜂屋) 私たちの頃はクラス毎に行き先を決める「クラス旅行」が修学旅行だった。

(司会) クラス旅行はどこに行つたんですか。

(蜂屋) 東京や横浜とかですね。

(馬場) 渋谷に行つて、自分へのお土産にかわいいセーターを買つたんですけど、洗つた

ら。ペシヨつとなつちやつて1回しか着れなかったことがいい思い出です。

【郷土や後輩にメッセージをお願いします】

(鈴木) 今でも在校生の活躍は楽しみに見ていますので、勉強に部活に頑張ってもらいたいと思います。それと、警察にはプラタナス会があるので、新任の頃からどこに行つても必ず先輩たちに面倒を見てもらつて今に至っています。是非後輩の方々には警察へ就職していただきたいと思っています。

(馬場) 高校を卒業してから今もまだ仲良くしている友達が数人いて、皆さんようやく子育てが終わつて、ゆつくり飲めるようになってきました。同級生だったということである時に気にかけてくれて、励ましてもらっていることをありがたく感じています。在校生の皆さんには今を大切に、楽しんで、学業に励んでほしいと思います。

(佐々木康) 石ノ森章太郎先生のような偉大な方が出てきてくれればなあと期待しています。周りの目や大人の目を気にしすぎて生きるのにはやめてほしいと思います。成功している人は、自分のやりたいことにまっしぐらに走る人だと思ふ。そういうガッツを持って、外にどんどん出ていくような活躍を期待したいと思っています。

(蜂屋) 色んな人がいて、色んな価値観や生き方があると思います。その人にしかない個性を大事にして、どんなことでもよいので自分にしかないものを人に左右されることなく自分を輝かせて、いい人生を送ってほしいと思います。同級生ということでもいくつになっても肩書を超えて話せる関係性というのはいすごくいいことだと思ふます。今日の座談会に参加してみても、何十年



蜂屋恵美さん

ぶりでも同級生ということ、改めて人とのつながりの大切さを感じることができました。



佐々木奈津江さん

(佐々木奈) 地元で頑張っている同級生が地域を引っ張っているということが外に出て改めてよくわかりました。仙台に住むようになって今の仕事をするようになって、「佐沼高校なんです」と声をかけてくれる先輩、後輩がいることがとてもうれしく、ありがたいなと思っています。私たちの学年は、病気や事故で亡くなった人が多かったこともあって、2年に一度くらい地元で同級会をしていました。つながりが強い学年なんだなと思っています。在校生の皆さんには、未来を恐れることなく、困つたら先輩たちがいると頼って欲しいと思います。

(及川) 今、地元に残っているOBとして、高校時代を過ごした登米との関りを絶たないでほしいと思っています。地元は今すごい勢いで人が減つていて、元気が無くなっている。地元で頑張っている同級生、先輩、後輩もいますのでどんな形でもいいので登米との関りを保つてほしいと思います。発信する手段や関わる手段も昔と比べて増えているので、地域貢献について在校生にも伝えていきたいですね。

(司会) 強い絆で結ばれた35回生、個性的な先生たちに囲まれて佐高愛も培われたと感じました。いよいよ来年9月には新校舎が竣工します。改めて母校への関心が高まることを期待しています。本日はお忙しい中ご協力いただきました。ありがとうございます。

皆さんには、今年の総会幹事という大役もあります。創立40周年にふさわしい賑やかな総会になるように期待しています。



「人間形成の礎として
継続してきたラグビー人生」

千葉貞夫さん（高20回生）



大暑の候、
会員の皆様
には益々ご
清栄のこと
とお喜び申
上げます。

私は佐沼高校第20回卒、登米市迫町新田出身の千葉貞男と申します。このたび同窓会役員の方から依頼があり、恐縮ながら投稿させていただきますことをお許し願います。

昨年の11月3日に令和5年秋の叙勲者の発表があり、不詳私が旭日双光章を受賞する栄を欲することとなりました。大変な驚きと感激で身の震える思いでいっぱいでした。

昭和43年佐沼高校を卒業するまで3年間ラグビー部に所属し、恩師の高橋洋一郎先生から勝利への執念と人間観を徹底的に指導して頂きました。まさに校訓の「献身・窮理・力行・至誠」そのものです。先生からは「常に努力に勝るものはない」という人生訓も教えて頂き、社会

人として生かすことが出来ました。こうした教えを人間形成の礎として、国鉄・JR就職後もラグビーを通し、社内はもとより宮城県ラグビー協会役員として貫いてきたことが今回の受賞に繋がったことと思います。

宮城県ラグビー協会の理事・副会長・会長・役員として25年間、宮城県のスポーツ振興・発展・競技力向上、女子ラグビー普及、将来を担う子供達に夢と感動を与えるリーグワン、日本代表戦等のビッグゲーム招致に向けた取り組みが認められたことと思いますが、これは私一人で成し遂げたことではありません。

昨年11月13日東京椿山荘で森山文部科学大臣出席の下、叙勲の伝達を受けました。その後皇居で天皇陛下から拝謁を受け、身に余るお言葉を頂き改めて受章の重みを体全体で感じて参りましたが、今回の受賞は宮城県のスポーツ界、ラグビー界に関わる全ての方々のお褒めであり、私が代表で受賞してきたと思っております。

これからは、お世話になり支えて頂いた皆様に少しでも恩返しできるよう微力ですが頑張つて参りますので、引き続きご指導ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、会員の皆様におかれましては暑さが厳しくなる時節柄、くれぐれもご自愛下さい。

平成5年度総会風景

令和5年9月2日パレスへいあんで4年ぶりの総会が開催されました。



日下副会長から母校へ部活動助成金を手渡されました



無事総会を終了して乾杯！



締めは大畑民夫先輩（高16回生）のエンル



同窓会歌斉唱

同じ夢を見られるしあわせ

(有) ケー・ワイ不動産企画

代表取締役

山本琴枝さん (高26回生)



山本琴枝さん

昨年10月に仙台市で全日本不動産協会宮城県本部創立60周年記念の催しが行われました。私は司会を務めさせて頂いたのですが、その記念事業の実行委員長を務めていたのが、山本琴枝さんでした(現在宮城県本部副本部長)。もともと司会の依頼を受けた際に山本さんが同窓の先輩という事は知ってはいましたが、準備から本番に至るまで、安定感のある進め方や人をまとめる力に感服。裏方も表方も分け隔てなく楽しそうにイキイキと働かれる姿は憧れを覚えるもので、ぜひ皆さんにご紹介したいと、今回登場願いました。

インタビュー…在仙高会副会長 渡辺 祥子
(高36回生/フリーアナウンサー)

インタビュー

(渡辺) 独立し会社を設立して昨年が20周年だったとのこと。おめでとうござい
ます。

(山本) ありがとうございます。会社員時代もふくめ、宅地建物取引士として不動産販売や賃貸仲介等に携わっている期間はずいぶん長くなりました。この会社は宣伝はしていませんが、お客さまが次のお客さまを連れてきてくださる…。本
当にありがたく、大切にしていかなければと思います。

(渡辺) 長く続けられている宅建業の魅力は何でしょう。

(山本) 他人の人生にどっぷり関わることでしょうか(笑)。資金繰りといった計画段階から住まいの取得まで、お客さまのお金で同じ夢を見ながらそれを実現させていく…。もう面白くて、面白くて。

(渡辺) 本業のみならず、以前は商工会議所女性会の委員長を務め、現在は法人会の全国の女性部会副会長や宮城県の会長、宮城県団体中央会女性部会の副会長など、様々な要職につかれていますよね。

(山本) 以前女性経営者の大先輩から、「琴枝ちゃん、何か頼まれたら、まずはイエスと言おう!」と言われたんです。「何をやるか、どうやるかは、やりなが

ら考えよう」と。

(渡辺) そう言われたら断れない…。

(山本) かなり大変ですが、そのお陰でずいぶん良い人脈も広がり、得難い経験も出ていますね。

(渡辺) その行動力や精神力の強さは、佐沼高校在学時からのものでしょうか。

(山本) いや、当時は結構後ろ向きだったかも。でも、周囲には自分をしっかり持っている人が大勢いて影響を受けたかもしれません。他人に流されないというか、これをした、という意志を持った集団だったような気がします。

(渡辺) 今でも定期的にクラス会を開催しているそうですね。

(山本) 私が通っていた時代は、男子クラスと女子クラスに分かれていたのですが、3年生になって文系・理系や就職・進学など細かくクラスが分かれた時に、唯一男子理数系クラスに女子5人が入ったんです。私はその5人の中の一人。それが3年2組で、還暦祝い時は秋保の温泉宿に30人集まりました。それがきっかけとなり、今でも3か月に1回くらい集まっています。

(渡辺) さまざまなご縁を大切にされてきた山本さん。これからの目標は?

(山本) がむしやらに不動産道を歩んできて、振り返ったら家庭が無くなっていた…。なんてこともありましたが(苦笑) 順風満帆の人生ではありませんし

た。娘たちには申し訳ないことをしたな
と思います。山本琴枝としては、後悔
のない「やったぜ!」の人生だったかな
(笑)。これからは自分に出来ることで
精いっぱい周囲の皆さんのお役に立て
ばと思います。

(渡辺) まっすぐに突き進む先輩の背中
をみながら私も頑張ります。今日はあり
がとうございました。

(山本) ありがとうございます。



開業20年を迎えたばかりの山本さんのオフィスにて、
山本さん(右)と渡辺副会長



7月に開催したクラス会には3年7組(女子クラス)の
二人も参加してくれた。来年は古希の祝いを
7組の女子にも声がけをして開催予定とのこと。

常任幹事会
(5月14日)
期別幹事会
(6月17日)
報告

在仙同窓会の常任理事会が5月14日開催されました。五十嵐会長から「在仙同窓会は今年創立40周年を迎えることとなります。また母校は来年9月に新校舎が竣工予定です。会及び母校の更なる発展にご支援・ご協力をよろしくお願い致します。」と挨拶がありました。

議題では「令和5年度事業報告・決算報告」「令和6年度事業報告・予算(案)」が承認されました。続く役員改選では、令和5年度役員に加えて新たに山本琴枝さん(26回生)と島谷留美子さん(36回生)が常任幹事として推薦され承認されました。

また6月17日には期別幹事会が開催され五十嵐会長から「今年の総会は、在仙同窓会創立40周年を祝って盛大に開催したいと思います。多くの参加者を集めましょう。」と挨拶があり、幹事会の決議事項等について報告後、いずれも承認されました。また諸物価高騰による懇親会費の値上げ、母校新校舎竣工記念抛金についても説明があり承認されました。その後、会の運営や会員増加について参加者による意見交換が行われました。

令和6年度新役員(案)

| | | | |
|------|-------|-------|---------|
| 顧問 | 高橋 孝昌 | 高11回生 | |
| 同 | 羽生 正弘 | 高18回生 | |
| 会長 | 五十嵐 信 | 高27回生 | |
| 副会長 | 渡邊 政明 | 高29回生 | |
| 同 | 日下 敦 | 高30回生 | 事務局長兼務 |
| 同 | 渡辺 祥子 | 高36回生 | |
| 常任幹事 | 佐藤 新光 | 高25回生 | |
| 同 | 佐々木鉄男 | 高25回生 | |
| 同 | 山本 琴枝 | 高26回生 | 新任 |
| 同 | 佐藤 則夫 | 高27回生 | |
| 同 | 菅原 誠 | 高27回生 | 広報委員会兼務 |
| 同 | 岡本 智悦 | 高30回生 | 事務局兼務 |
| 同 | 佐々木良泰 | 高31回生 | |
| 同 | 島谷留美子 | 高36回生 | 新任 |
| 同 | 金野 陽一 | 高37回生 | |
| 同 | 名生伊智郎 | 高40回生 | |
| 同 | 菅原 好信 | 高41回生 | 広報委員会兼務 |
| 同 | 大井川貴彦 | 高42回生 | |
| 同 | 西條 佳行 | 高24回生 | |
| 監事 | 五十嵐信二 | 高32回生 | |
| 監事 | 小野寺良太 | 高56回生 | |
| 会計 | | | |

◆佐沼高校同窓会

第7回懇親ゴルフコンペ開催

今年も在仙同窓会単独開催は行わずに、本校同窓会懇親ゴルフコンペに参加したいと思っています。

第7回懇親ゴルフコンペは、令和6年9月26日(木)杜の都ゴルフ倶楽部で開催を予定しています。皆さんのご参加をお待ちしています。

年会費納入のお願い

在仙同窓会の活動は在仙同窓生の皆さんの年会費で運営しております。会員皆

様へのご案内の郵送料、広報誌ひろがりの制作と印刷代、その他用紙文具通信費などを年会費から支出しております。

まことに恐縮ですが、1人2000円の会費納入を、今年もよろしくお願い申し上げます。(在仙同窓会事務局)

母校新校舎竣工記念抛金
ご協力をお願い

母校は現在53年ぶりの校舎の建て替え工事が進んでいて、令和7年9月に竣工予定となっています。つきましては、在仙同窓会としても別紙のとおり皆様に広く抛金を募って、新校舎の設備や備品購入の諸費用の一助として贈呈したいと思っています。ご支援・ご協力をお願い申し上げます。※同封の趣意書をご確認ください。

◆情報をお待ちしています。

お知らせの同級生の活動や、活躍している情報(同期会、趣味、サークル、イベント、著作等の活動等なんでも)がありましたら、ぜひ事務局へご連絡をお願いいたします。

在仙同窓会事務局/㈱ホットハウス内(担当・岡本) 電話(215) 7787

◆編集後記

5月下旬に母校を訪問してきました。建設途中の新校舎の全容はまだパスから創造するだけです。竣工予定の来秋が本当に楽しみです。在仙同窓会は今年創立40周年を迎えました。同窓の絆と母校愛にあふれる会が未来永劫でありますように。今年も皆さんの協力で無事刊行できました。ありがとうございました。

編集委員長・菅原 誠(高27回生)

在仙同窓会創立40周年おめでとうございます



ホットハウス

「住み替えて始まる素敵生活」
不動産のことならホットハウスへ!

代表取締役 日下 敦(高第30回生)
仙台市青葉区本町1丁目5-131
Tel.022(215)7787

株式会社大成ハウジング

代表取締役 佐々木 良泰

(高第三十一回生)

仙台市若林区荒井五丁目十九番地の四
☎022(287)3326

ゆうファミリークリニック

「地域の患者さん、リウマチ患者さんのために」
宮城県宮城郡利府町利府字新館二五
☎022(766)4141
地域の患者さんのために頑張ります!
医療法人慈裕会ゆうファミリークリニック

登米診療所

宮城県登米市登米町寺池桜小路一三三
☎022(210)8422
院長 高橋 裕一(高第三十回生)



㈱日専連ライフサービス

「ちょっといいながある
あなたに身近な」

日専連ゴールドカード

仙台市青葉区中央一・三二
☎022(267)9221